

Children's health issues masked by spread of infection

WATANABE Kanae

Abstract

COVID-19 is not the only health issue that children face. However, because of the pandemic, children's health concerns other than COVID-19 have become invisible, or people have ignored to them. The purpose of this research was to not overlook these issues and to investigate the necessary support for children's health and healthy growth. We took records by observing participants from 44 kindergartens for three weeks and analyzed them using a qualitative research method (thematic analysis). The results revealed that there were no COVID-19 patients among these children; however, there was hand-foot-and-mouth disease that spreads among children during the onset of summer. Indeed, health issues other than illnesses were observed more frequently. Specifically, a decrease of physical strength and motor abilities, problems with food and nutrition, a disordered lifestyle, and a lack of parents' affection may have serious impacts on children's health and healthy growth. It would be impossible to solve these issues by caregivers only, and therefore, the support of governments and specialists of law and counseling will be necessary.

感染症の拡大で見えなくなっている 子どもの健康の問題

渡 部 かなえ

1. 緒言

2020年の春以降、健康問題の関心は新型コロナウイルス感染に集中しており、幼稚園や保育所も例外ではない。しかし、子どもの健康上の問題は新型コロナウイルス感染症だけではない。感染症が拡大する以前の調査で、保育所や幼稚園に通う年齢の子どもたちにも身体および心の様々な健康上の問題や課題があり¹⁾、保育士や幼稚園教諭（保育者）が対応に苦慮するものも少なくなかった。

2020年の春から現在に至るまで、保育所や幼稚園（園）でも新型コロナウイルス感染症の拡大への対応に追われ、子どもの他の健康問題はあまり取り上げられなくなっている。しかし、簡単には解決できず難しい対応を迫られていた問題がなくなるはずはなく、見えなくなっている・見ようとしなくなっているだけではないかと考えられる。

本研究は、園での保育の参与観察で子どもたちの健康の問題についても記録し、新型コロナウイルス感染症の拡大で見えなくなっている・見ようとしなくなっている子どもの健康の問題を見落とすことなく、健康と健やかな育ちのために必要な保育支援について検討することを目的として行った。

2. 方法

保育の専門性を持つ協力者が、東京都内・神奈川県内の44園でゴールデン・ウィーク後に3週間の保育の参与観察を行った。観察記録には、観察者が気づいた子どもたちの健康上の問題点も自由記述方式で記録し、それを質的研究手法（主題分析）で検証した。

新型コロナウイルス感染症の幼児教育機関での感染状況（毎月の感染者数）については、2020年4月から2021年5月の東京都文京区の認可保育所（60園）²⁾の職員と園児の感染報告を参照した³⁾。

3. 結果

2020年4月から2021年5月に東京都文京区の認可保育所から届け出のあった新型コロナウイルス感染症の園児の感染者数は、ほとんどの月で0名または1桁であった³⁾。保育所でクラスターの発生があった2020年5月は27人と突出しているが^{4)、5)}、平均3.6人であった。全期間を通して、保育所での感染者の発生率は園児よりも大人の職員の方が高く、子どもは比較的感染しにくいし、子どもが大人に感染させるよりも大人が子どもに感染させることの方が多い、という研究報告⁶⁾に合致していた。

幼稚園の保育参与観察では、疾病の中ではアレルギーが最も多く、11件の報告があった。園児の新型コロナウイルスへの感染報告はなかった。風邪やマイコプラズマ肺炎などの呼吸器系の感染症は4件報告されており、新型コロナウイルス感染症の1か月平均感染者数（3.6人）より多かった。夏に子どもの患者が多い手足口病やウイルス性胃腸炎も感染者が出始めていた。

表 1：文京区 認可保育所（約 60 園）の新型コロナウイルス感染者（園児）数

	園児の感染者数（人）	緊急事態宣言・まん延防止等重点措置
2020 年 4 月	1	緊急事態宣言
2020 年 5 月	27 *保育所でクラスター発生	緊急事態宣言
2020 年 6 月	0	東京アラート
2020 年 7 月	0	
2020 年 8 月	3	
2020 年 9 月	1	
2020 年 10 月	0	
2020 年 11 月	1	
2020 年 12 月	4	
2021 年 1 月	8	緊急事態宣言
2021 年 2 月	1	緊急事態宣言
2021 年 3 月	3	
2021 年 4 月	2	まん延防止等重点措置 →緊急事態宣言
2021 年 5 月	0	緊急事態宣言
〈平均〉	3.6	

参与観察では、疾病以外の健康上の問題の方が多く報告されていた。最も多かったのが食に関する問題で、子どもの好き嫌いだけでなく、保護者が子どもに与える食事のバランスの悪さや、お菓子や菓子パンを食事として食べていること、朝食の欠食などの問題があった。また体力や運動能力の低下と運動不足（運動遊びの減少）も多くの園の参与観察で指摘されていた。それらに加えて就寝時刻が遅い、生活が不規則などの、生活習慣全

表 2：参与観察（44 園）で見いだされた子どもの健康上の問題点（指摘があった件数）

疾病	アレルギー		11
	感染症	風邪・マイコプラズマ肺炎（呼吸器系の感染症）	4
		ウイルス性胃腸炎	2
		手足口病	3
		溶連菌感染	1
疾病以外	体力・運動能力の低下、運動不足（運動遊びの減少）		12
	生活習慣の乱れ		11
	食の問題		17
	生活環境・保護者の問題、愛情不足		5

体に問題があるとの指摘も多数なされていた。さらに、子どもの生活環境や保護者の行動や生活に不安な点があることや、親からの愛情不足なども複数の園で報告された。

4. 考察

変異株の流行で子どもへの感染や感染した場合の重症化の心配が出てきた新型コロナウイルス感染症は、もちろんしっかりと感染予防と、感染が疑われる場合の適切な対応が必要である。しかし実際には、新型コロナウイルス感染症以外の健康問題が感染拡大以前と変わらず存在し、対応が必要な事例は新型コロナウイルス感染症よりも多いことが、参与観察による調査で明らかになった。

ウイルス性胃腸炎の予防は、うがい手洗いなど新型コロナウイルス感染症の予防法と共通することもあるが、加えて食品の衛生管理も重要になる。また 6 月から急激に増える子どもの夏風邪といわれている感染症のうち手

足口病が既に発症しており、7月から各園で始まる水遊びに向けてプール熱の予防やヘンパングーナの予防も重要である⁷⁾。

多くの報告が上がってきたのは子どもの体力・運動能力の低下で、運動遊びをしない子どもが増えていることが心配されていた。新型コロナウイルス感染症の拡大で、公園などに出かけて遊ぶ機会は確かに減ったが、園庭や室内での運動遊びはできる。それにもかかわらず子どもたちの運動遊びが減っているのは、新型コロナウイルス感染症だけが原因ではない。外出自粛が要請されるなど多くの制約があるが、接触しない運動遊び（ボールや缶などを蹴る、直接タッチしないしっぽ取り、ダンスなど）を工夫して行うことが必要である。

また食の問題は、子どもだけでなく保護者へのアドバイス等の支援も必要である。子どもにお弁当（昼食）として菓子や菓子パンを持たせたり、子どもに朝食を食べさせないで登園させたり、夜遅くに子どもに食事や間食をさせている保護者の存在は、感染症拡大以前から問題になっていたが、感染症が拡大している今も依然としてあり、引き続いての対応が求められる。

さらに、保護者が多忙な場合、帰宅が遅くなり夕食も遅くなるので、子どもの就寝時間が遅くなり朝起きられない・朝食をとる時間が無い、あるいは夜遅くに食べるので朝はお腹が空いていないため朝食が食べられないなどの、大人（保護者）の生活習慣の乱れが子どもにも影響している。生活習慣を改めるのは容易ではなく、新型コロナウイルス感染症の拡大で在宅勤務が多くなっても、保護者の生活習慣は夜型のままになっているため、子どもの生活習慣の乱れも続いてしまっている。

問題のある生活環境や家庭の状況、保護者の愛情不足など、子どもの心と体の健康と健やかな育ちに深刻な影響を及ぼしている懸念がある事例も、感染症拡大前と変わらず報告された。各家庭には様々な事情があるが、子

どもが保護者からの十分な愛情やケアを受けることができておらず、情緒不安定になっていたり、園で教職員に執拗な愛着を示したり、栄養や衛生面で気になることがある事案では、在園中の園のスタッフによる子どものケアだけでは解決できず、保護者へのケアが必要であり、行政や法律あるいはカウンセリングなどの専門家による保護者への支援が不可欠である。

加えて、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響で、保護者が感染を恐れて別の病気を発症した子どもの受診を控えたために重症化してしまった⁸⁾、予防接種や乳幼児の検診を遅らせてしまう⁹⁾など、これまでになかった子どもたちの深刻な健康上の問題が発生している。さらに園児の保護者が「感染防止」を理由に医療関係者の子どもを登園させないよう保育所に要請する、保育所が医療関係者の子どもの受け入れを拒否するなど^{10)、11)、12)、13)}、差別や偏見という子どもを取り巻く社会の健全さを崩壊させる問題も起きている。

新型コロナウイルス感染症の拡大以前からあった子どもの健康問題は、いまだ解決されていない上に、感染症の拡大でそれらの問題への取り組みが一層できなくなっている。加えて子ども自身は感染してなくても、感染症拡大の影響で別の病気への適切な予防や処置の機会を失っている危険性がある。これらの問題には園の教職員だけでは対応しきれず、行政や専門家による、子どもだけでなく保護者への支援が必要である。感染症がさらに拡大し、変異株の流入や新規に発生する危険性が高いイベントに莫大な資金と人的資源を投入するのではなく、それらを子どもの健康と健やかな育ちの支援に活用すべきである。

5. 謝辞

本研究は、日本学術振興会・科学研究費補助金・基盤研究（C）：課題

番号 18K02462 によって遂行している研究の一部である。また、幼稚園での参与観察に協力して下さった園と協力者のみなさまに感謝いたします。

【参考資料】

- 1) Watanabe K., Dickinson A., Comparative study of preschool children's current health issues and health education in New Zealand and Japan, Contemporary Issues In Education Research, Vol. 10, No. 4, pp219-224, 2017.
- 2) 文京区 子ども家庭部 子育て支援課, 文京区子ども・子育て支援事業計画（平成 27 年～平成 31 年度）【平成 30 年 3 月改訂版】, p5, 2018.
- 3) 東京都文京区, 区内保育施設における新型コロナウイルス感染症罹患者の発生について <https://www.city.bunkyo.lg.jp/kyoiku/kosodate/okosan/nicchu/ninka/coronaoshirase.html>, (5 月 27 日更新), (閲覧: 2021 年 6 月 1 日)
- 4) 朝日新聞デジタル, 東京・文京区の保育園で感染拡大 園児ら計 22 名が陽性, 2020 年 6 月 11 日, <https://www.asahi.com/articles/ASN7C6H66N7CUTIL01K.html>, (閲覧: 2021 年 6 月 1 日)
- 5) NHK, 東京 文京区 保育園で新たに 19 人感染確認 新型コロナウイルス, 2020 年 7 月 11 日, <https://www3.nhk.or.jp/news/html/20200711/k10012510511000.html>, (閲覧: 2021 年 6 月 1 日)
- 6) ナショナル ジオグラフィック, 子どもがコロナに感染する・させる割合は大人の半分ほど、研究, <https://natgeo.nikkeibp.co.jp/atcl/news/20/121400735/> (閲覧: 2021 年 6 月 8 日)
- 7) 厚生労働省, 特集 夏が来る前に備える “子どもの感染症対策” https://www.mhlw.go.jp/stf/houdou_kouhou/kouhou_shuppan/magazine/201906_00001.html (閲覧: 2021 年 6 月 8 日)
- 8) 日テレ NEWS24, 感染症拡大で子どもの「受診控え」病状悪化注意, (閲覧: 2021 年 6 月 8 日) <https://www.news24.jp/articles/2020/12/11/07784208.html>
- 9) 厚生労働省, 遅らせないで！ 子どもの予防接種と乳幼児健診, (閲覧: 2021 年 6 月 8 日) https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_11592.html
- 10) 朝日新聞デジタル, 医療従事者や家族へ差別か「子どもの登園拒否された」, (閲覧: 2021 年 6 月 8 日) <https://www.asahi.com/articles/ASN4T71VHN4TUTPB006.html>
- 11) NHK, 看護師の子 保育園が拒否 医療関係者への差別や偏見 各地で, (閲覧: 2021 年 6 月 8 日) <https://www3.nhk.or.jp/news/html/20200418/k10012393931000.html>
- 12) 厚生労働省, 医療従事者等の子どもに対する保育所等における新型コロナウイルスへの対応について, <https://www.mhlw.go.jp/content/000622822.pdf>, (閲覧: 2021 年 6 月 8 日)
- 13) 厚生労働省, 保育所における差別・偏見の禁止に関する政府広報について, (閲覧: 2021 年 6 月 8 日) <https://www.mhlw.go.jp/content/11920000/000625021.pdf>